

# 効果①

# 国際競争力と成長 ～民需の拡大～

- 首都圏3環状道路整備に伴い、物流の効率化などを目的に、圏央道沿線地域に工場や物流施設が新たに立地されています。
- 今回開通区間周辺においても、工業団地への新たな企業立地、拡張が進んでいます。

### あみとうぶ 阿見東部工業団地

- ・分譲開始時期：平成15年～
- ・工場用地面積：50.8ha
- ・立地企業数：16社
- ・主な企業：食料品製造業

H22. 7: 用地取得(11.4ha)  
 H23. 2: 関連食品包装容器製造会社が用地取得(1.4ha)  
 H25. 2: 追加用地取得(2.0ha)  
 H25. 7: 関連物流会社が用地取得(3.1ha)  
 H25.11: 関連食品包装容器製造会社が操業開始  
 H26. 2: 関連物流会社が稼働  
 H26.11: 全生産ライン稼働

#### 阿見東部工業団地における 工場用地面積(累積)の変化

年度	累積面積 (ha)	立地企業数 (社)
H18	12.2	8
H21	21.1	13
H25	39.0	16

3.2倍  
(H25/H18)  
企業立地、  
拡張が進行

※( )内は各年時点の立地企業数(予定を含む)

### あみとうぶこうぎょうだんち 阿見東部工業団地周辺の状況

平成18年12月時点

平成18年12月撮影

↓

平成26年4月時点

平成26年4月撮影

出典：いばらきの工業団地HP、平成24年度茨城県誘致企業総覧、ちば産業地図(H26)、千葉県企業庁HP、千葉県企業立地ナビHP、圏央道沿線ナビHPの産業情報をもとに作成(平成27年2月10日時点)

# 効果①

# 国際競争力と成長 ～民需の拡大～

○今回開通区間周辺では、今後の圏央道の整備を踏まえ、新たな物流拠点整備の候補になるなど、さらなる企業立地の誘発が期待されます。



おか あみひがし  
**いぶきの丘 阿見東**  
 (阿見吉原土地区画整理事業)

- ・計画用途 : 商業・業務・物流・住宅などの複合施設
- ・施行面積 : 160.8ha
- ・計画人口 : 2,600人
- ・施行年度 : 平成15年度～平成36年度
- ・主な立地施設: 大型商業施設  
 H21.7: 開業(16.5ha)  
 H23.12: 増設オープン(4.2ha)

**【物流事業者の声】**

- ・一般道は渋滞のストレス、移動時間が読みづらいため、**高速IC直結の産業団地は、魅力的**です。
- ・今後、圏央道が常磐道や東北道に接続することを勘案すれば、茨城県内の**圏央道IC周辺は物流不動産として価値が高く、新たな物流拠点整備を検討する候補**となると思います。

出典)平成26年11月 ヒアリング調査(常総国道事務所調べ)

おか あみひがし  
**いぶきの丘 阿見東周辺の状況**



平成18年12月撮影



平成26年4月撮影

出典:いばらきの工業団地HP、平成24年度茨城県誘致企業総覧、ちば産業地図(H26)、千葉県企業庁HP、千葉県企業立地ナビHP、圏央道沿線ナビHPの産業情報をもとに作成(平成27年2月10日時点)